

# 好きこそものの上手なれ

# 回胴倒錯者

## - PACHISLO FREAK -

### 攻略法？

三重県にスロットが導入され、早1年が過ぎようとしていた2001年の春、私は松阪市にあるG店に来ていた。稼動は1割程度しかなく、夕方頃にようやく3割といった店だった。それでも非常に優良店で、高設定と思わせる台はゴロゴロと落ちており、その稼動の気軽さと、高設定の投入率と、さらには店員の接客姿勢に好感がもて、私は非常にお気に入りの店であった。ななでこんなにガラガラだったのか今でも不思議でしかたがない。

この頃は既に玉ボンDXを外した店が多く、また残っている店においても、高設定にありつける頻度はそれほど多くなかった。そのため、まだまだ現役で稼動率が高く人気もあった「大花火(アルゼ)」を打っていた。個人的にはそれほど面白みを感じた機種ではなかったが、機械割りの高さに魅かれて打っていたのである。G店にも一列ずらりと大花火が設置されていたもの、お客さんは3、4人というところだった。おかげで台は遊び放題で大抵は高設定を探し出していたように思う。

その日も昼前に到着し大花火の島へ(昼前でもほとんどが0回転だった)。先客はいつもおちおちさんが3人。いつもの顔ぶれである。昨日の閉店前に、つそり数台に仕込んでおいた設定変更別トラップ(単にリールの出目を覚えていたり、小役を揃えておいたりとか、それだけのもの)を確認する。すると全台据え置きの様子。なので昨日自分が5千枚ほど出した据え置き台に着席する。この機種に関して、それほど楽しさを感じていなかった私は、楽しむ

大花火(アルゼ)  
2種類のハズレ方法によって初々上級者まで幅広く支持された。三重では大花火からスロットを覚えた人も多い。



ことよりも利益優先で打っていたので通常時も効率の良い打ち方をしていた。予告音が鳴らないときは「山」が揃うことはない。左のチェリーを交互に狙って(出目は大抵左下段「BAR」、山付の七)が交互に停止し、中右は適当押し。予告音が鳴っても左のチェリーは交互に狙うのだが、「山」の可能性もあるので、それぞれのリールで適当に押ししてしまわないように少し注意を払って打つ。大花火には小役カウンタが搭載されていないので、取りこぼしは丸損、となるので取りこぼしは許されなかつたのである。

テンポよく左リールにBARと山付の七が交互に停止する。テロリン、予告音が鳴り左下段に山付の七が停止、そのまま中リールに七を狙うと見事に斜めテンパイの2確目!ある時は左下段にBARが停止し、中右を適当に押しすと、右下段七のリーチ目!こういった感じでボーナスを量産しその日も快調にメタルの山を築いていた。そしてふと後ろを振り返ると白シャツにネク

タイ姿の店員が、私の打つ姿を凝視していた。(また、めんどうくさい事を言われるのだからなあ...)そう思っていると、案の定わたしに声を掛けてきた。

「君はいつもそのBARと山付の七を交互に押ししているけど、その打ち方はやっぱりボーナスに当選しやすいの?」  
意外な質問だったので多少驚きはあった。だがスロットに関してその無知な質問は、ある意味やっぱり面倒くさい質問には変わらなかった。

「いえ、当選しやすいわけではないですよ。ただ取りこぼしが無いように効率よく打とうと考えたら自然とこの打ち方にたどり着いた、というだけの話です。」

このように答えたのだが、そもそもスロットをあまり理解していない店員なので、意味が通じただけではない。なので続けてこう言った。  
「ボーナスはレバーを倒した時に抽選しているの、ストップボタンをどこでどういう風に押そうが、ボーナスの抽選とは関係ありませんよ。私の場合、テンポよく打っており、他のお客さんよりも消化スピードが格段に速いので、「よく当たっている」というイメージがあるのかもしれないね」  
その店員は暫く考え込んでから口を開いた。

「なんだかよく分からないけど、打ち方には関係なさそうですね。もしそれでよく当たるんだしたら私もやってみようと思ひまして...」

あら、そういうことですか。ということでは、この店員の方にもスロットのうんちくを少々伝授し、平和的に解決されたのであった。もちろん、設定変更後の状態等は私にとつて不利益になるので教えていない(笑)

### 革命児5

2001年を迎えた頃に発売された機種の中に「獣王(サミー)」という機種がある。いわずと知れた爆裂AT機の元祖である。スロットというモノの役構成には小役やボーナス、ハズレなどが存在する。それは絶対的な存在であって、それ以上でも以下でもないのがあたり前の話となっており、また、そうでなければいけないものであった。しかしこの獣王は違った。一般的には一番くだらない役である「ハズレ」がチャンスとなったのである。具体的に説明すると、ハズレ成立時にサバンナチャンス(AT)が抽選されるのである。それまでノーマルATタイプがほとんどだったこの時代において、それに馴れきっていたスロッター達はそれを理解できず、人のほうが少なく、大抵の人は「マーク気味だったに違いない。」「重複抽選?そんな機種が検定通過などありえない、なんて!?」結論から言うと、「メイン基盤では重



獣王(サミー)  
最初は何もがその独特なリール配列に驚いた。この機種の登場と共にプロを引退する者も少なくなかった。

複抽選はしていない」ということである。メイン基盤にプログラムされているものは、純粹にボーナス、小役、ハズレだけであり、その抽選方式にはなんら問題は無いということである。ではどこでATの抽選は行われているのか?ということだが、これは「サブ基盤」というところで行われている。サブ基盤とはもともと獣王以前の機種にも搭載されており、その役割は、液晶演出、効果音などの非常にシンプルなものではない。かつたのだがそれが複雑化し、ATというものを生み出したのである。簡単に言えば、メイン基盤で「ハズレ」が成立した場合、その信号がサブ基盤に送られ、さらにここで本

**A氏プロフィール**  
三重県出身。三重の高校を卒業後、進学のため大阪へ。学業よりもパチスロに専念してしまいお決まりコースの大学中退。中退後3年間はパチスロで生計を立てる。その後サラリーマンになるも副収入はパチスロで。結婚のため三重に戻りホール店員となる。現在は知識と経験を生かし某店で設定師として手腕の種まで直視できるほどの異常っぷり。

当に「ハズレ」となるのか「AT当選」となるのかを抽選するのである。重複抽選というよりは2段階抽選といった感じである。それに当選しめてたくAT突入となった場合はサブ基盤の本来の役割「演出」により、小役のナビが発生したり、軽快な音楽が鳴ったりするわけである。もしサブ基盤が壊れていて、ATに当選したものの、ナビや

演出がなにも無ければ「通常時」となら変わることはない。しかしボーナス中のJACゲームで音楽が消えてしまおうが、演出が無くなるのが、リールを回してボタンを止めればメダルは出てくる。これがボーナスとATの決定的な違いである。この「演出」をしていられるだけという考え方は、なんと素晴らしいか、サブ基盤の規制の甘さに付け込んだメーカー側にあつたあつた。大限に使うために利用されたのが、「ほぼ毎回当選する小役」である。通常時は「演出」が無いから、押し順や押し絵柄が分からずにはほとんど取りこぼしてしまふ。これを元に数々のAT機が生まれたのである。さらに「純ハズレ(小役の取りこぼし)ではない完全なハズレ」などという新しい言葉が生まれ、その後のストック機時代において

### 実践!ダイナマイト

先日ダイナマイトリターンズを打ってきたので、その報告を少々。  
初代と変わらないメダル投入音、スタート音、そしてストップ音、これら聞いた瞬間、なぜか負ける気がしませんでした。あたりまえだが初代より技術介入の恩恵がかなり薄れているのは、いってもし5号機の中では効果大の部類。しかしそのビタ押しで並ぶ3連ダイナマイトの爽快

### 実践データ

| ゲーム数  | ボーナス  | 投資金額  |
|-------|-------|-------|
| 192G  | REG   | 6000円 |
| 189G  | BIG   | 3000円 |
| 87G   | BIG   |       |
| 234G  | REG   |       |
| 230G  | BIG   |       |
| 20G   | BIG   |       |
| 54G   | BIG   |       |
| 48G   | BIG   |       |
| 400G  | BIG   |       |
| 27G   | BIG   |       |
| 18G   | BIG   |       |
| 32G   | BIG   |       |
| 228G  | REG   |       |
| 357G  | BIG   |       |
| 82G   | BIG   |       |
| 300G  | END   |       |
| 獲得枚数  | 1463枚 |       |
| BIG確率 | 1/208 |       |
| REG確率 | 1/833 |       |

妙に連チャンして2万勝ちミスのないBIG消化後はドッカーンと鳴ります(鳴らない時もあった。ダイナマイトの成立が少なく、ノーマスでも鳴らない感じ)ボーナス確定のドッカーンよりも遥かに大きい音なのでかなり驚きました。



横かくてついつい激写

もこの「純ハズレ」は完全なハズレのくせに非常に重要な役の一つとなるのである(ストック機の仕様については近々解説)。  
しかし私にはこのAT機の爆裂仕様による、大負け、大勝ち、連の作用の拡大が受け入れ難く、実際、この獣王を打ったのは現金で3万円ほどとかなり過小なものであった。そして新たな時代の流れの予感に、「私の技術や知識はこれからの時代に必要ない」と感じられたのもこのときが最初である。きつとわが師コジさんも技術介入時代の到来を予感したとき、私のように感じ取つたに違いない。

### 次回予告

新たな時代の突入を予感させる「獣王」。そのときA氏の心境は?そしてA氏の選択は?次回「大阪」をうご期待!